

西日本インカレ（合同研究会）2015 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）アイチダイガク	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）フルカワチトセ
愛知大学	経営学部	古川千歳

※申込書に記入したチーム名から変更する場合は、新旧両方の名称を記入してください。

※企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ）ワタナタム	ウチダリョウカ	5名
わたなたむ	内田諒香	

研究テーマ（発表タイトル）
生き残りをかけて!!～辻占煎餅業界の未来～

※必ずく企画シート作成上の注意を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本生まれの伝統菓子である辻占煎餅の日本国内でのシェア率の向上と業界の活性化を考える。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

日本生まれの伝統のお菓子、辻占煎餅はアメリカにおいてフォーチュンクッキーという名前で広く親しまれている。その歴史は、1894年のサンフランシスコ国際展覧会において、日本庭園管理者の萩原眞氏がお茶菓子として辻占煎餅を使用したことが始まりとされる。その後、現地中華料理店を中心にアメリカ全土へ広がっていった。現在ではアメリカの生活に定着しており、年間30億個も消費されるビックビジネスとなっている。

しかしながら、街頭インタビューを実施したところ、人々の辻占煎餅イメージは上記AKB48の楽曲タイトルに留まっており、販売企業を調査したところ、慢性的な人員と資金の不足といった中小零細企業的課題に直面していることも伺えた。

3. 研究テーマの課題

辻占煎餅を生産販売している「なかむら」、「諸江屋」に電話調査したところ、以下の課題が見つかった。

1. 広告費を払う余裕がない
2. 販売経路や卸売業者が少なく、商圏が狭い
3. 定義がないため形や商品名に統一性がない

これらは中小零細企業特有の課題であり、その課題を解決するとともに辻占煎餅業界の活性化を目指す。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

全国和菓子協会に加盟し、前述の課題解決のための支援を受ける。

- 1 つ目の広告の課題については、機関紙の発行により協会の同業他社に自社の製品の提案・広告をすることが出来る。
- 2 つ目の商圏の課題は、同協会に加盟している全国の他店舗において自社製品の販売を募り、販売圏を広げることが出来る。
- 3 つ目の製品の課題は、辻占煎餅の定義をするために協会のコネクションを利用し、辻占煎餅の組織委員会を発足させ、同委員会を通じて特許申請の手続き等へ向けた足踏みをそろえることが出来る。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- インタビュー調査

実施日：2015 年 8 月 3 日

対象：10 代～20 代の男女

実施場所：名古屋駅付近

有効回答数：100

インタビュー内容：＜食べる前＞

性別（男 女） 年齢（ 歳 ）
学年（ 年 ） 大学名（ ）（ 1 高校 2 中学 ）
「フォーチュンクッキー」を聞いたことがある、知っている（ はい いいえ ）

→ 1 AKB48

→ 2 おみくじ入りお菓子

販売されているのを見たことがある（ はい いいえ ）

実際に食べたことがある（ はい いいえ ）

→ 1 自分で買った（どこで ）

→ 2 もらった（誰に ）

＜食べた後＞

味はどうだったか（ ）

どんな味があつたら食べたいか（ ）

また食べたいと思ったか（ はい いいえ ）

中に何を入れたいか（ ）

どういった場面で食べたいか（ ）

1 バレンタイン 2 結婚式 3 正月 4 誕生日

自分で買いたいと思うか（ はい いいえ ）

- 「なかむら」「諸江屋」「全国和菓子協会」への電話調査

6. 結果や今後の取り組み

辻占煎餅業界が抱える課題を共有・解決するためには、同じ第三者組織に加盟して一枚岩となることが必要と判明した。今後の取り組みとしては、辻占煎餅販売各店舗が全国和菓子協会に加盟し足並みをそろえるよう呼びかけることである。

7. 参考文献

- 全国和菓子協会(最終アクセス日 2015 年 11 月)
<http://www.wagashi.or.jp/wagashikyokai/zenkoku.php>
- 『日系チャプスイレストランにおけるフォーチュンクッキーの受容』 中町泰子 2009 年
- The New York Times(最終アクセス日 2015 年 11 月 10 日)

http://www.nytimes.com/2008/01/16/dining/16fort.html?_r=5&scp=11&sq=restaurant&oref=slogin&oref=slogin&oref=slogin&

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までを渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「西日本インカレ事務局への連絡事項」に記入してください。なお、本企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版權の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。